

# 第134回根室管内景気動向調査

29年4～6月期実績・29年7～9月期見通し

## 全業種総合 ～管内全体の売上・収益DIはともに改善するも低調～

DIの推移	売上DI			収益DI		
	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期見通し	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期見通し
管内総合	△29.4	△13.7	△15.0	△32.2	△20.9	△15.0

業種別	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期見通し	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期見通し
製造業	△40.0	△10.5	△15.8	△40.0	△26.3	△21.1
卸売業	△18.8	△ 6.7	△20.0	△18.8	△ 6.7	△ 6.7
小売業	△40.7	△33.9	△27.1	△44.4	△37.3	△25.4
サービス業	△25.8	+ 6.1	+ 3.1	△22.6	△ 6.1	△ 3.0
建設業	△ 4.5	± 0.0	△ 7.4	△18.2	△ 7.4	△ 7.4

地区別	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期見通し	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期見通し
根室市	△40.0	△16.4	△14.5	△43.3	△25.5	△16.4
管内4町	△21.7	△12.2	△15.3	△24.1	△18.4	△14.3
(中標津町)	△40.0	△25.7	△14.3	△36.7	△31.4	△ 5.7
(羅臼町)	△22.2	△36.8	△ 5.3	△22.2	△15.8	+ 5.3
(標津町)	△18.2	+14.3	△28.6	△36.4	+ 7.1	△28.6
(別海町)	± 0.0	+ 6.7	△16.7	△ 4.2	△16.7	△30.0

### 実績TOPICS

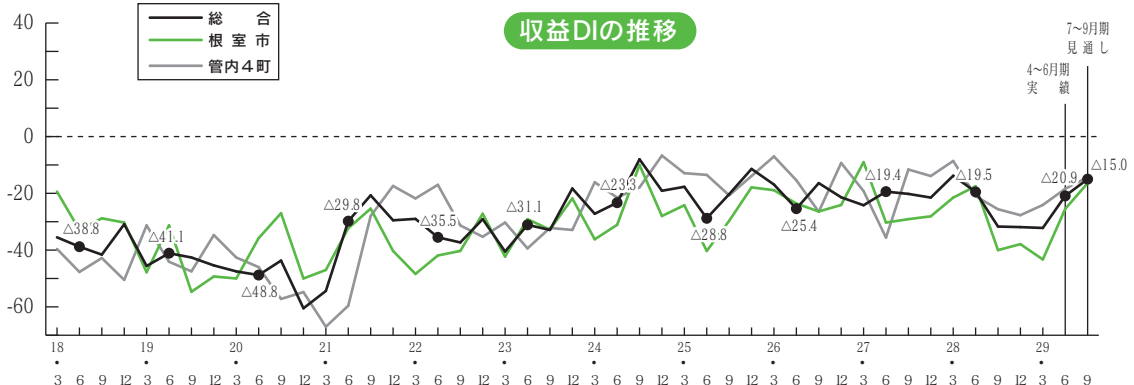
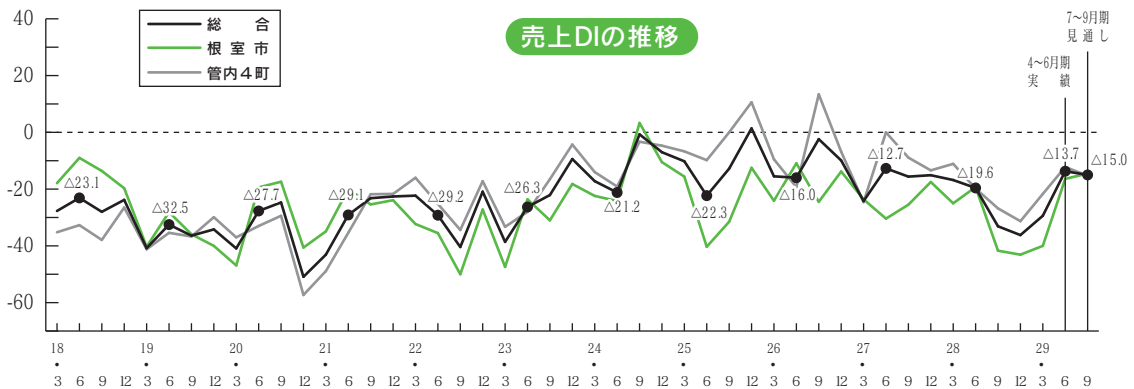
- 根室管内総合は、全業種の売上・収益DIが前期比改善。
- 業種別では、製造業、卸売業、サービス業が売上・収益DIともに大幅改善。小売業は売上・収益ともにやや持ち直しも依然低調に推移。
- 地区別では、根室市は売上・収益DIは改善。中標津町、羅臼町の売上・収益DIは低調。一方、標津町は売上・収益DIともにマイナスからプラスへ転じる。

### 見通しTOPICS

- 根室管内総合は売上DIはやや後退、収益DIはやや持ち直しの見通し。
- 業種別では、小売業が前期比持ち直し見通しにあるものの低調。製造業、卸売業、建設業は売上DIが後退する見通し。
- 地区別では、根室市が売上・収益DIともに持ち直し見通し。管内4町は、中標津町、羅臼町が売上・収益DIともに大幅改善の見通し。標津町・別海町は売上・収益DIともに悪化の見通し。

### 4～6月管内全業種総合特徴

- 水産業は、スケソウ等の不漁による在庫減少に加え、ロシア200海里内サケ・マス流し網漁の禁止にともなう代替漁業の曳き網漁が不調、春鮭鱒のスタートも振るわず、景況感は低調に推移しています。
- 酪農は、高気温や飼料品質低下により前年比減少。夏季の猛暑が引き続き懸念される一方、一番草の収穫は順調となり、秋口以降は飼料品質向上による生産増加が見込まれています。
- 小売業は消費の低迷が続き、飲食店や飲食料を中心に低調であるが、サービス業は自動車整備業や旅館・ホテル業の景況感が持ち直しています。
- 建設業は、農業関連を中心とした民間受注が寄与し、景況は回復しています。





# 卸売業

## 卸売業

～売上・収益DIともに改善～

DIの推移	売上DI			収益DI		
	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し
卸売業全体	△18.8	△6.7	△20.0	△18.8	△6.7	△6.7

### 業種別

水産物卸	△36.4	△40.0	△20.0	△27.3	△30.0	± 0.0
食品・建材・家畜卸	+20.0	+60.0	△20.0	± 0.0	+40.0	△20.0

### 地区別

根室市	△8.3	+9.1	+9.1	± 0.0	± 0.0	+9.1
管内4町	△50.0	△50.0	△100.0	△75.0	△25.0	△50.0

## 実績TOPICS

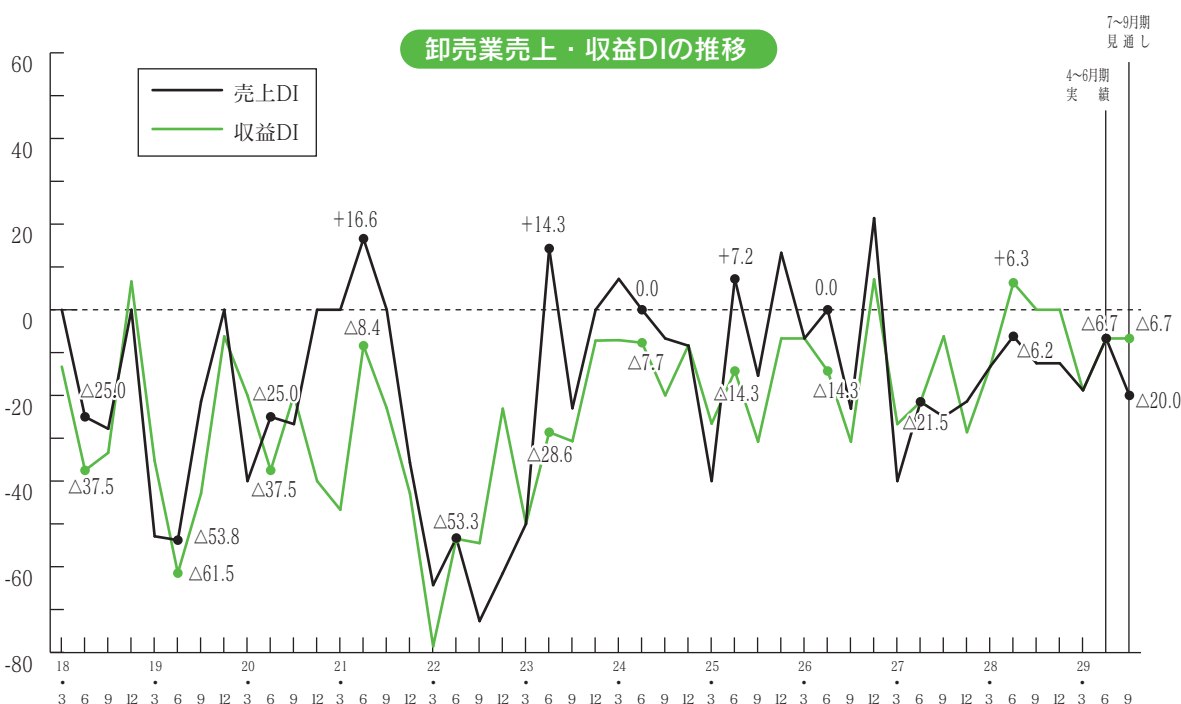
- 卸売業全体では、売上・収益DIともに改善するも依然マイナス域で推移。
- 業種別では、水産物卸は売上・収益DIともにやや後退し低調。食品・建材・家畜卸は売上・収益DIともにプラスとなり、好調に推移。
- 地区別では、根室市は景況感は売上DIがマイナスからプラスへ転じ良好。管内4町の売上DIは低調。

## 見通しTOPICS

- 卸売業全体では売上DIは悪化、収益DIは今期から横ばいの見通し。
- 業種別では、水産物卸が売上・収益DIともに改善の見通し。食品・建材・家畜卸ではマイナスへ転じ悪化の見通し。
- 地区別では、根室市が売上・収益DIともにプラスの見通し。管内4町は依然低調に推移する見通し。

## 4~6月卸売業特徴

- 水産物卸は、水揚の不振や流水による昆布への悪影響により、売上・収益ともに景況感は低調に推移しています。
- 家畜卸については、乳牛や肉牛の個体価格が高値を維持しており、肥育業者は売上の景況感が好調に推移する一方、仕入れ価格の負担増加や販売価格の下落を懸念して見通しは低調となっています。
- 経営上の問題点としては、「売上の停滞・減少」、「販売商品の不足」に加えて、新たに「代替商品の不足」が挙げられており、水産物を中心とした商品の不足が問題となっています。



# 小売業

～売上・収益DIともに依然低調～



DIの 推移	売上DI			収益DI		
	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 見通し	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 見通し
小売業全体	△40.7	△33.9	△27.1	△44.4	△37.3	△25.4

業種別	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 見通し	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 見通し
衣料品	△100.0	△75.0	△100.0	△100.0	△75.0	△75.0
飲食料品	± 0.0	△46.2	△15.4	△26.7	△46.2	△15.4
飲食店	△20.0	△30.0	△30.0	△20.0	△20.0	△30.0
自動・自転車・スポーツ	△80.0	△20.0	△20.0	△80.0	△20.0	△20.0
家具・DIY	△60.0	△75.0	△25.0	△40.0	△100.0	△25.0
家電	△60.0	+28.6	△14.3	△60.0	± 0.0	△28.6
医薬品・化粧品	△66.7	+33.3	± 0.0	△66.7	± 0.0	± 0.0
書籍・文具	△75.0	△66.7	△66.7	△75.0	△66.7	△66.7
燃料	△14.3	△44.4	△11.1	△28.6	△33.3	△22.2

地区別	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 見通し	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 見通し
根室市	△40.9	△31.6	△42.1	△59.1	△47.4	△42.1
管内4町	△40.6	△35.0	△20.0	△34.4	△32.5	△17.5
うち中標津町	△69.2	△35.3	△35.3	△46.2	△47.1	△17.6

## 実績TOPICS

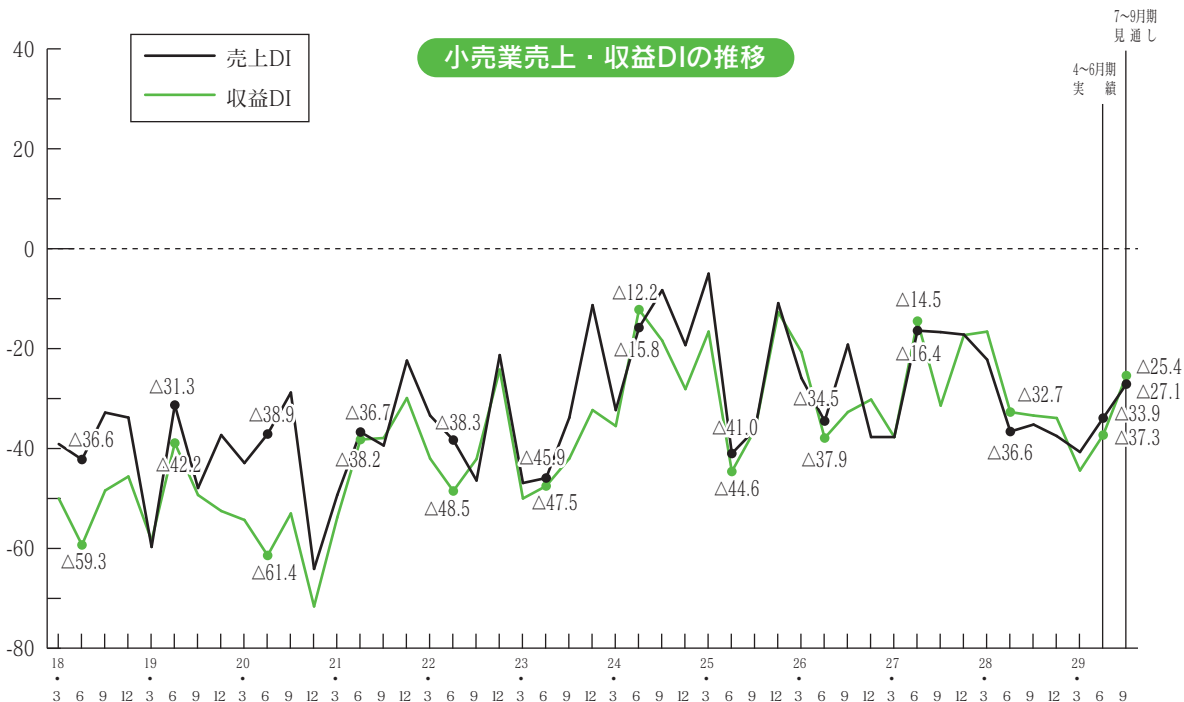
- 小売業全体では、売上・収益DIともに前期比持ち直すも依然低調。
- 業種別では、衣料品、飲食店は売上・収益DIともに低調。飲食料品は売上・収益DIともに大幅な悪化。家電、医薬品・化粧品は売上DIが改善しプラスへ転じる。
- 地区別では、根室市、管内4町ともに売上・収益DIは持ち直すものの、依然低調。

## 見通しTOPICS

- 小売業全体では売上・収益DIともに今期比改善の見通しも低調に推移。
- 業種別で飲食料品、燃料の売上・収益DIが改善の見通し。衣料品、飲食店は今期に引き続き低調に推移する見通し。
- 地区別では、根室市の売上DIは悪化の見通し。管内4町は売上・収益DIともに今期から改善の見通し。

## 4~6月小売業特徴

- 大型店の出店や水産業の不振を背景に、飲食料品や飲食店を中心に消費が落ち込み売上・収益の景況感ともに低調に推移しています。
- 燃料は、地熱事業の中断の影響が一部にあり、長期的な需要継続が期待されただけに、反動によって売上の景況感が後退しています。
- 経営上の問題点としては、前期に続き「売上の停滞・減少」、「競争の激化」が上位にあり、売上の維持・改善が課題となっています。



# サービス業

～売上・収益DIともに改善～

DIの推移	売上DI			収益DI		
	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し
サービス業全体	△25.8	+ 6.1	+ 3.1	△22.6	△ 6.1	△ 3.0
<b>業 種 別</b>						
旅館・ホテル	△25.0	± 0.0	△33.3	△25.0	± 0.0	△33.3
洗濯・理美容	△25.0	+20.0	△20.0	△50.0	± 0.0	△20.0
自動車整備	± 0.0	+25.0	+25.0	± 0.0	± 0.0	+12.5
運 輸	△45.5	△10.0	△10.0	△27.3	± 0.0	± 0.0
医療・その他	△25.0	± 0.0	+28.6	△25.0	△28.6	± 0.0
<b>地 区 別</b>						
根 室 市	△53.8	△16.7	+ 8.3	△46.2	± 0.0	+ 8.3
管内4町	△ 5.6	+19.0	± 0.0	△ 5.6	△ 9.5	△ 9.5

## 実績TOPICS

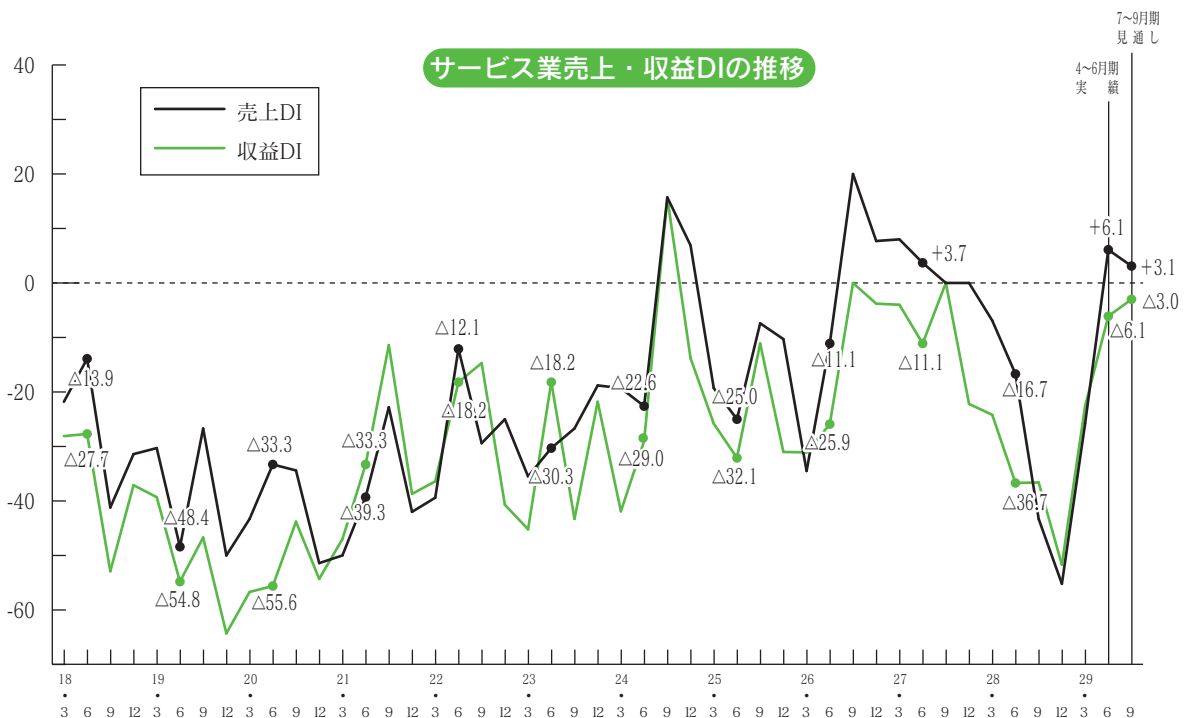
- サービス業全体では売上・収益DIともに前期比改善され、売上DIはプラスへ転じる。
- 業種別では医療・その他を除き、売上・収益DIは前期比改善。
- 地区別では、根室市は売上・収益DIともに改善。管内4町は売上DIがマイナスからプラスへ転じる。

## 見通しTOPICS

- サービス業全体では売上DIはプラスを維持し、収益DIはやや持ち直す見通し。
- 業種別では、旅館・ホテル、洗濯・理美容は、売上・収益DIともにやや悪化の見通し。自動車整備業は好況の見通し、運輸業は売上・収益DIともに横ばいの見通し。
- 地区別では、根室市は売上・収益DIともにプラスへ転じる見通し。管内4町は売上DIは後退、収益DIは横ばいの見通し。

## 4~6月サービス業特徴

- 北方四島への調査団の派遣などにより、根室管内への注目度が高まったことに加え、クルーズ船観光や海外個人旅行客の増加により一部地域では旅館・ホテル業や、観光関連サービス業の景況感は持ち直しています。
- 自動車登録台数の伸びを背景に、自動車整備業の売上の景況感は上向いています。
- 経営上の問題点としては、前期に続き「売上の停滞・減少」、「人手不足」が上位を占めています。





## 建設業

～売上・収益DIともに持ち直し～

DIの推移	売上DI			収益DI		
	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し
建設業全体	△4.5	±0.0	△7.4	△18.2	△7.4	△7.4
<b>受注分野別</b>						
官公庁受注	+13.3	△5.9	△11.8	±0.0	△17.6	△11.8
民間受注	△42.9	+10.0	±0.0	△57.1	+10.0	±0.0
<b>工事種類別</b>						
建築工事	±0.0	±0.0	△20.0	△22.2	△10.0	△20.0
土木工事	±0.0	+18.2	±0.0	△11.1	±0.0	+9.1
設備工事・その他	△25.0	△33.3	±0.0	△25.0	△16.7	△16.7
<b>地区別</b>						
根室市	△66.7	△16.7	±0.0	△66.7	△33.3	△33.3
管内4町	+18.8	+4.8	△9.5	±0.0	±0.0	±0.0

### 実績TOPICS

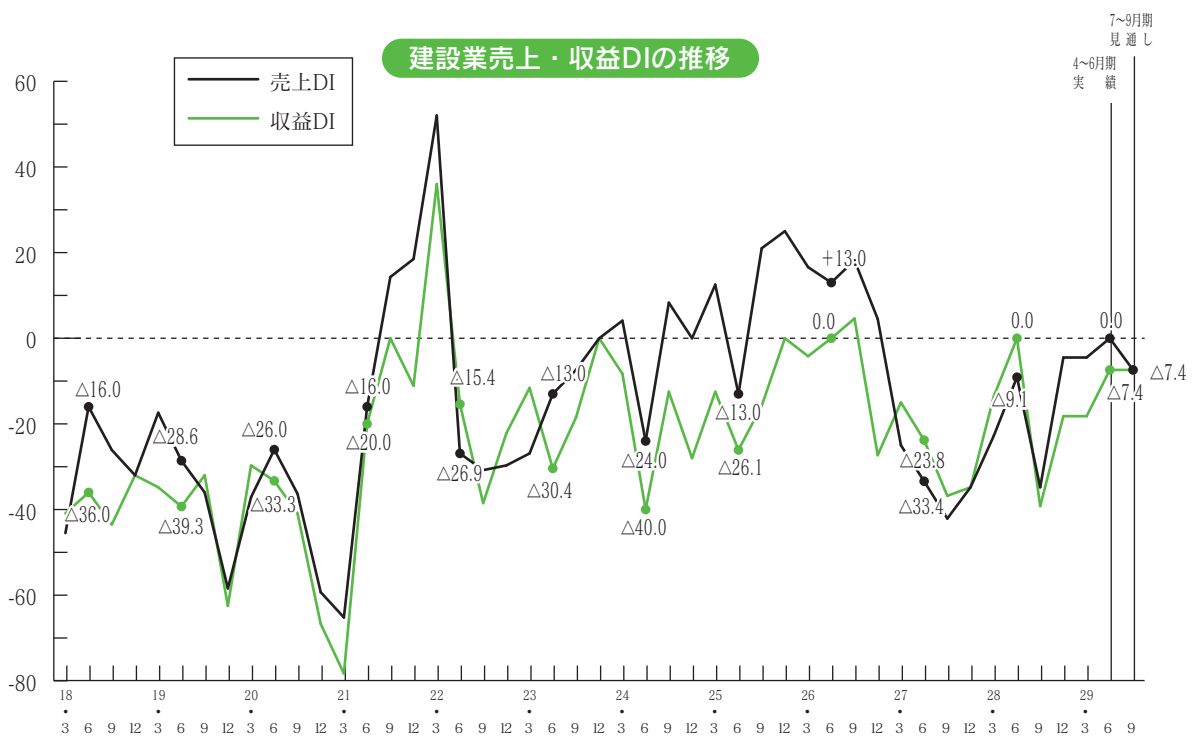
- 建設業全体では、売上DIがマイナス域を脱し、収益DIは改善。
- 受注分野別では、官公庁受注の売上・収益DIが悪化し、民間受注は売上・収益DIともに改善。
- 工事種類別では、土木工事の売上・収益DIが改善。設備工事は低調に推移。
- 地区別では、根室市は売上・収益DIともに改善。管内4町は売上DIはプラスを維持。

### 見通しTOPICS

- 全体では売上DIはやや後退、収益DIは横ばいの見通し。
- 受注分野別では、今期プラスの民間受注が売上・収益DIともに後退する見通し。
- 工事種類別では、建築工事が売上・収益DIともに悪化の見通し。土木工事は、売上DIが後退し、収益DIが持ち直し見通し。

### 4~6月建設業特徴

- 公共工事は学校建替工事や道路整備等の一定の受注はあるものの、売上・収益ともに景況感は低調となっています。民間受注は、農業関連事業を中心に、売上の景況感が上向きとなっています。
- 経営上の問題点としては、前期に続き「人手不足」が一位となり、「下請けの確保難」も増加していることから、人手不足の与える影響は深刻になっています。



## 経営上の問題点 (平成29年6月調査)

( )内は前回順位

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業
1位	原材料の入手難 <sup>(2)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(2)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(1)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(1)</sup>	人手不足 <sup>(1)</sup>
2位	売上・受注の停滞・減少 <sup>(1)</sup>	販売商品の不足 <sup>(1)</sup>	競争の激化 <sup>(2)</sup>	人手不足 <sup>(2)</sup>	競争の激化 <sup>(3)</sup>
3位	原材料高 <sup>(3)</sup>	代替商品の不足 <sup>(-)</sup>	人手不足 <sup>(3)</sup>	人件費以外の経費の増加 <sup>(3)</sup>	受注・施工高の停滞・減少 <sup>(2)</sup>
4位	人手不足 <sup>(4)</sup>	人手不足 <sup>(3)</sup>	人件費以外の経費の増加 <sup>(4)</sup>	材料価格の上昇 <sup>(-)</sup>	下請の確保難 <sup>(5)</sup>
5位	競争の激化 <sup>(-)</sup>	人件費以外の経費の増加 <sup>(4)</sup>	店舗の狭小・老朽化 <sup>(-)</sup>	競争の激化 <sup>(4)</sup>	材料価格の上昇 <sup>(-)</sup>

## 調査員・調査企業のコメント (平成29年6月調査)

### 【製造業】

- ・水揚不振の中、原魚確保の対策が必要。  
(水産加工)
- ・鮭鱒流し網問題や全般的な水揚減少から原料不足が危惧される。安定した原料の確保と適正な利益確保が課題。  
(水産加工)
- ・今期は漁の閑散期ではあったが、魚体は小さいがタラやコマイの漁が例年より多かった為、例年よりも工場の稼働率が高い状況。  
(水産加工)
- ・助宗が水揚不振の状況であるが、輸出向けの製品製造を積極的に行い稼働率の向上に努めている。  
(水産加工)
- ・鮭などの水揚げが減ってきているので最終需要に向けた商品開発をしている。年間安定した仕事ができるよう努力している。  
(水産加工)
- ・売上高はオガ粉への取組みを強化したことで若干増収。木箱は依然不調。製材については6月以降に取引先の新築受注が控えており増加見込み。  
(木材)
- ・漁獲の減少に伴い受注数は減少。  
(木材)
- ・バイオマス発電の影響により原木価格の高騰が懸念される。  
(木材)
- ・漁業不振の状況から木箱の需要が減少傾向にある一方で、牛舎関連工事が活発な状況から総体の受注数は変わらずに推移。  
(木材)

### 【卸売業】

- ・水揚原魚の不足から売上高は減少。工場現場のラインを見直し、その他経費削減を実施。  
(水産物)
- ・原料が不足している。  
(水産物)

- ・流水の影響により昆布の生育が遅れており、収穫時期も例年より遅延。  
(水産物)
- ・水産加工場の稼働は鈍いものの、根室市の防災関連商品や農協への販売は堅調推移。  
(材料・資材・用品)
- ・牛の個体価格は高値推移しており、販売環境は良好な一方で仕入時に苦慮している状況。  
(家畜)

### 【小売業】

- ・市内景気低迷により、売上減少傾向にある。DM発送等の努力はしている。  
(衣料品)
- ・漁業者や水産関係者の利用が多いが、一般客の利用も見られる。漁業者も、ゴム手袋など使い捨てが当たり前であったが、今は洗って再利用するため売上が伸び悩んでいる。  
(衣料品)
- ・6月の酒税法改正により、酒類販売価格が競争激化の状態からやや改善すると予想される。  
(飲食料品)
- ・大型店の出店以降売上高は平均して1割減。競合しない商品にて売上回復を目指す。  
(飲食料品)
- ・地元の漁業・昆布漁等の景気に左右され売上は苦戦している。  
(飲食料品)
- ・6月から始まる昆布漁に期待がかかる。  
(飲食料品)
- ・24時間営業のため人員の確保に苦慮。特に深夜時間のシフト体制づくりが難しくなっている。  
(飲食料品)

## 調査員・調査企業のコメント (平成29年6月調査)

- ・1月から5月にかけて売上の伸びがなかったものの、6月頃より良くなってきた。今後に期待したい。 (飲食品)
- ・人手不足によるパート従業員の人員体制見直し等が必要。 (飲食品)
- ・消費流出に歯止めがかからない。 (飲食品)
- ・町内コンビニの競争激しく、人手不足によるシフト編成に苦慮。 (飲食品)
- ・大型店出店の影響は軽微。配達等の強みを活かし漁業関係者への営業強化を図る。 (飲食店)
- ・昼食中心に営業。地元の漁模様にて昼食や宴会受注が左右される。 (飲食店)
- ・今期は天候にも恵まれ良い動きだった。連休が長く、知床まで来た方も多かったが峠の通行止めが残念だった。 (飲食店)
- ・中古車販売が軌道に乗り始め、整備修理等も受注していることから相乗効果が出てきている。 (自動車・自転車)
- ・市内個人客を中心に受注増加のため、売上好調。 (家電)
- ・高齢化社会により、調剤の需要は高く売上は好調。 (医薬品・化粧品)
- ・一般消費は冷え込んでおり、来店客は減少傾向。 (書籍・文具)
- ・地熱事業が中断したことにより、燃料販売が中断となった為、期待していた売上を下回った。漁業関係者への売上はまずまずの状況。 (燃料)
- ・地熱開発中断の影響が大きい。油外収入確保に注力しており、順調な売上推移。 (燃料)
- ・仕入価格は増加傾向にある。近年はネットショッピングが身近になっており、顧客の確保が難しい状況。 (スポーツ・娯楽用品)
- ・時計販売・修理、メガネ販売をしており、高齢者をターゲットにしている。今後は顧客層の拡大を図るため、若年層向けの商品にも着手していく。 (カメラ・時計・メガネ・貴金属)
- ・市中経済の低迷による街の閉塞を感じている。 (建材・金物・DIY)

### 【サービス業】

- ・冬場の地熱工事により集客があり売上は増加。5月から6月についても微増。 (旅館・ホテル)
  - ・市内浴場施設の減少により、当浴場の利用客が増加傾向にあり、売上は好調。全国的に浴場数は減少傾向にあり、ピークの3分の1まで減っている。 (洗濯・理美容・浴場)
  - ・クルーズの予約状況が順調であり、突発的な災害(天候不順も含め)が無ければ増収増益を見込む。 (娯楽)
  - ・技術職の確保に苦慮している状況。 (自動車整備)
  - ・水産物の輸送だけでは厳しく、本州・札幌圏の輸送時は、帰り便も積める荷物があれば、安価でも運ぶように調整している。 (運輸・旅客運送)
  - ・閑散期につき売上減少。運転時間等の規制が徐々に厳しくなる中、営業体制の見直しを図る必要がある。 (運輸・旅客運送)
  - ・水揚状況による売上変動。人員不足、運転手確保に苦慮している。 (運輸・旅客運送)
  - ・受注も活発にある中で運転手が不足している。求人を出しているが十分には集まらず、今後人材を確保していくためにも給与面での待遇改善が課題。 (運輸・旅客運送)
  - ・町からの委託業務継続により、業況は安定推移。 (その他)
  - ・店頭販売(生花等)の売上が極端に悪い。葬儀の一回あたりの平均売上高も25%程度減少となっている。 (その他)
  - ・運送荷受けは安定している。ドライバー不足と高齢化が課題。 (その他)
- ### 【建設業】
- ・クラスター事業の追い風を受け、牛舎関連工事が活発な状況から受注額は増加している。 (建築工事)
  - ・修繕工事は昨年並みの状況。板金業者がフル稼働するも現場数に対応できていないため、当社の工期にも影響が出ている。 (建築工事)
  - ・町外の同業他社の攻勢が大きくなってきている。アフターフォローの充実・満足度を武器に売上高維持を図っていく。 (建築工事)
  - ・昨年の大雨の影響による災害復旧工事の受注増加を見込む。 (土木工事)
  - ・工事が増加している一方で人員確保に苦慮している。 (設備工事業)



# 第109回釧路地区小売業景気動向調査

29年4～6月期実績・29年7～9月期見通し

## 釧路地区小売業総合

～売上、収益DIともに持ち直し～

DIの推移	売上DI			収益DI		
	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期見通し	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期見通し
総合	△23.9	△15.9	△11.4	△22.7	△11.4	△ 8.0
釧路市	△ 6.1	+ 6.1	△ 9.1	△ 6.1	+ 3.0	△ 6.1
釧路市音別町	± 0.0	± 0.0	+50.0	± 0.0	± 0.0	△50.0
釧路町	△22.2	△ 9.1	△ 9.1	△22.2	± 0.0	± 0.0
白糠町	△33.3	△50.0	△25.0	△33.3	△41.7	△16.7
厚岸町	△61.1	△50.0	△16.7	△50.0	△33.3	△11.1
浜中町	± 0.0	△25.0	△25.0	△33.3	± 0.0	± 0.0
標茶町	△28.6	+12.5	± 0.0	△14.3	± 0.0	± 0.0

### 実績TOPICS

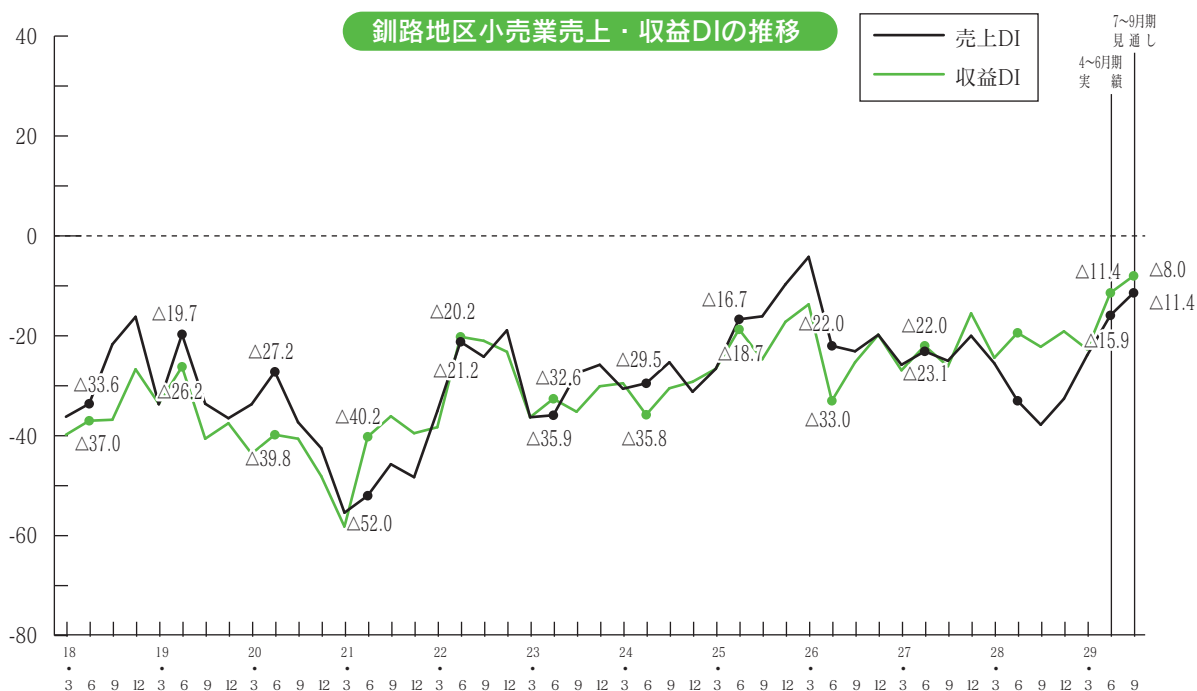
- 釧路市は売上・収益DIともにマイナスからプラスへ転じる。
- 釧路町、標茶町は売上DIが前期比改善。浜中町は収益DIが前期比改善
- 白糠町は売上・収益DIともに前期比後退。

### 見通しTOPICS

- 地区別全体では、売上・収益DIともに持ち直す見通し。
- 釧路市は売上・収益DIともにプラスの今期からマイナスへ転じる見通し。
- 釧路町、浜中町は今期から横ばいの見通し。

### 4～6月釧路小売業地区別特徴

- 釧路市は売上・収益の景況感ともに持ち直していますが、釧路市外の地域については、釧路市への顧客流出による売上停滞が深刻であり、多角化やインターネットの活用、商品開発等への取り組みに着手していますが、景況感は低調となっています。
- 経営上の問題点においても、ほとんどの地域において、「売上の停滞・減少」、「競争の激化」、「人手不足」が上位を占めています。



## 釧路地区小売業総合

DIの推移	売上DI			収益DI		
	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し
総合	△23.9	△15.9	△11.4	△22.7	△11.4	△ 8.0
衣料品	△71.4	△80.0	△40.0	△71.4	△80.0	△20.0
食料品計	△27.3	△19.4	△11.1	△30.3	△ 8.3	△11.1
(酒・タバコ・米)	△50.0	± 0.0	± 0.0	△80.0	△14.3	± 0.0
(コンビニ)	△25.0	△20.0	△10.0	△25.0	± 0.0	± 0.0
(スーパー)	△25.0	△66.7	△66.7	+25.0	△33.3	△100.0
(菓子・パン)	+33.3	± 0.0	+20.0	± 0.0	± 0.0	± 0.0
(その他総合食品)	△44.4	△27.3	△18.2	△22.2	△ 9.1	△ 9.1
家具・仏具	± 0.0	+33.3	± 0.0	± 0.0	± 0.0	± 0.0
家電・OA機器	△25.0	△28.6	△14.3	△12.5	△14.3	△14.3
医薬品・化粧品	△40.0	△20.0	+20.0	△20.0	△20.0	+20.0
書籍・文具	△50.0	+33.3	± 0.0	△50.0	+33.3	± 0.0
玩具・スポーツ靴・カバン	△33.3	△40.0	△40.0	△33.3	△60.0	△40.0
カメラ・時計・アクセサリー・貴金属	+100.0	± 0.0	± 0.0	+50.0	△100.0	± 0.0
金物・DIY用品・燃料	△17.6	+18.8	+ 6.3	△ 5.9	+31.3	+18.8
贈答・花・茶	+20.0	△33.3	△33.3	± 0.0	△33.3	△33.3

### 実績TOPICS

- 衣料品は前期に続き低調。食料品計はコンビニや酒・タバコ・米の改善を要因に売上・収益DIともに前期比改善。
- 家電・OA機器は売上・収益DIともにやや後退。
- 金物・DIY・カー用品は売上・収益DIともにプラスへ転じ、大幅な改善。

### 見通しTOPICS

- 衣料品は売上・収益DIともに改善の見通し。
- 食料品全体ではコンビニや菓子・パンの景況改善を要因に、売上DIは持ち直す見通し。
- 医薬品・化粧品はマイナスの今期からプラスへ転じる見通し。

### 4~6月釧路小売業業種別特徴

- 大型店との競合や原料価格高騰により厳しい経営環境となる中で、コンビニや金物・DIY・カー用品・燃料などの業種において、立地条件や商品ラインナップの充実、固定客の維持・確保等の強みを活かしている企業では、一部景況感は持ち直しています。
- 人口減少や高齢化による消費低迷や人手不足による人件費高騰や負担増により、稼働維持やコストアップを懸念して、商圏人口の少ない地域や小規模事業者の景況感が低調に推移しています。

## 経営上の問題点 (平成29年6月調査)

( ) 内は前回順位

	小売業全体	釧路市	釧路町	白糠町
1位	売上の停滞・減少 <sup>(1)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(2)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(1)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(1)</sup>
2位	競争の激化 <sup>(2)</sup>	競争の激化 <sup>(1)</sup>	人手不足 <sup>(2)</sup>	人手不足 <sup>(4)</sup>
3位	人手不足 <sup>(3)</sup>	人手不足 <sup>(3)</sup>	人件費以外の経費の増加 <sup>(5)</sup>	人件費以外の経費の増加 <sup>(-)</sup>
4位	人件費以外の経費の増加 <sup>(4)</sup>	店舗の狭小・老朽化 <sup>(-)</sup>	競争の激化 <sup>(4)</sup>	競争の激化 <sup>(2)</sup>
5位	店舗の狭小・老朽化 <sup>(-)</sup>	販売先からの値下げ要請 <sup>(-)</sup>	人件費の増加 <sup>(3)</sup>	代金回収の悪化 <sup>(-)</sup>

	音別町	厚岸町	浜中町	標茶町
1位	競争の激化 <sup>(2)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(1)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(1)</sup>	売上の停滞・減少 <sup>(1)</sup>
2位	売上の停滞・減少 <sup>(3)</sup>	競争の激化 <sup>(2)</sup>	店舗の狭小・老朽化 <sup>(-)</sup>	競争の激化 <sup>(2)</sup>
3位	人手不足 <sup>(1)</sup>	人件費以外の経費の増加 <sup>(-)</sup>	人手不足 <sup>(5)</sup>	人手不足 <sup>(5)</sup>
4位	代金回収の悪化 <sup>(-)</sup>	販売商品の不足 <sup>(-)</sup>	販売先からの値下げ要請 <sup>(-)</sup>	人件費以外の経費の増加 <sup>(4)</sup>
5位	人件費以外の経費の増加 <sup>(-)</sup>	店舗の狭小・老朽化 <sup>(5)</sup>	人件費の増加 <sup>(4)</sup>	店舗の狭小・老朽化 <sup>(-)</sup>

# 調査員・調査企業のコメント (平成29年6月調査)

## 釧路市・釧路町

- ・大型店への顧客流出に歯止めがかからず、売上は減少傾向にある。(衣料品)
- ・大型ショッピングセンターに顧客は流れている。(酒・タバコ・米)
- ・高速道路の開通により、通行車両も増加。夏場のレジャーに向け、来客増加を見込む。(コンビニ)
- ・ドーナツ等新商品の販売開始もあり、売上は横ばい。(コンビニ)
- ・売上は固定客を保有し安定推移。(菓子・パン・ケーキ)
- ・原料価格高騰により、6月から商品値上げを行なった。(菓子・パン・ケーキ)
- ・メム製造増加から増収、増益の見込み。パート3名採用。(その他(総合食品など))
- ・天候(台風・流水等)に左右されるため、仕入の増減は予想できない。(その他(総合食品など))
- ・新築物件の建設が少なく、付随する家具の売れ行きも芳しくない。(家具・仏具)
- ・札幌店が順調に稼動し、増収。増収要因、新規顧客の確保。(家具・仏具)
- ・他店との価格競争により、現状、利幅確保が厳しい状況。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・固定客を確保しているが、新規顧客の確保が難しい。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・人手不足。どうにか現在の人数で稼動している状況。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・競争激化から売上減少が懸念される。人手不足。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・6月の各値上げに伴い取扱商品も値上げを行なう。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・人手不足と人件費高騰が深刻な問題。募集をかけてもこない。(贈答・生花・お茶)

## 浜中町・厚岸町・標茶町・白糠町・釧路市音別町

- ・釧路市内店の大手量販店への顧客流出に歯止めがかからない状況。(衣料品)
- ・お客様の高齢化にともない、新たに50代のお客様をいかに増やしていくかが大変であるが努力している。(衣料品)
- ・固定客の高齢化が進むが売上に変化は少ない。(衣料品)
- ・タバコ離れが増加しているとともに、アイコスへの移行も増えてきており、売上に影響。(酒・タバコ・米)
- ・北洋春鮭鱒規制により、大口取引が減少。(酒・タバコ・米)
- ・今期昆布漁の見通しもあり、顧客の買い控えを感じている。(コンビニ)
- ・MOO周辺の観光客増加の影響を受け今期売上高増加。(コンビニ)
- ・地区唯一の中型スーパーとして周辺住民中心に固定客を確保しているが、住民の高齢化とともに売上は停滞基調。(スーパー)
- ・周辺住民中心とした固定客を確保しているが、コンビニ、スーパーや低価格を売りにしたスーパーとの競争が激化。(スーパー)
- ・高齢化の進行から購買力が低下しているが、同業者の廃業もあり競合先の減少から売上増加の期待もある。(スーパー)
- ・スーパーなどの競合もあり来店客が減少し減収減益傾向。(菓子・パン・ケーキ)
- ・つぶ漁については殻の処理場が確保することができず断念。ホッキやその他魚種についても昨年程の漁獲量に届かず、売上減少傾向。(その他(総合食品など))
- ・国内産を中心とした精肉の取り扱いにて、スーパー等との差別化を図り固定客確保。牛・豚肉の仕入値が高騰しているが、売値に転嫁しきれずにいる。(その他(総合食品など))
- ・問屋が減少し、仕入先が減少。(その他(総合食品など))
- ・SNSを利用した発信はピンポイントでは効果を挙げるが、期待する「ついで買い」になかなか波及しないことに頭を悩ませている。(その他(総合食品など))
- ・大型スーパーとの契約により売上は増加傾向。設備投資を行い、大量生産可能な体制を構築。売り上げ増加の見通し。(その他(総合食品など))
- ・春鮭鱒の一括仕入れを行い経費削減を図っている。(その他(総合食品など))
- ・消防署移設工事やウイスキー工場に自販機を設置し、売上は好調。(その他(総合食品など))
- ・町内企業の家具入替や町外(弟子屈)への営業強化により、売上は前年並みを維持。価格設定や商品ラインナップでは大型店には劣っており、業況は厳しい状況。(家具・仏具)
- ・家電販売部門は釧路市内の量販店に顧客流出しており苦戦。工事部門は修理を中心に地元民から相応に受注確保。(家電・OA)
- ・家電販売は低調推移の中、リフォーム工事での売上確保を目指している。(家電・OA)
- ・駅前薬局として好立地条件を保持し、売上横ばいであるが、今後は近隣の大手との競争激化と、地元住民の減少等外部環境の構造変化が懸念される。(医薬品・化粧品)
- ・周辺住民中心とした固定客を確保しているものの、釧路市内へのアクセスが良くなったことで大手ドラッグストアへの顧客流出がいなめない状況。(医薬品・化粧品)
- ・ドラッグストアに無い商品を置き差別化を図っている。(医薬品・化粧品)
- ・昨年より官公庁需要が良い。来期新築物件があり売上増に期待。(書籍・文具)
- ・大型ショッピングセンター内の店舗は売上を維持するが、町内店舗は人口減少や高齢化から売上減少傾向にある。(書籍・文具)
- ・町内人口減少・高齢化から苦戦を強いられている。新学期や冬場(スケート関係)など需要のある時期もあるが、通年での売上維持に課題がある。(玩具・スポーツ・自転車)
- ・販売部門に関しては地元固定客を中心に売上確保。修理部門に関しては製品の耐久性・機能向上等により減少傾向。(カメラ・時計・メガネ・貴金属)
- ・駅前商店街での好立地条件を生かし、地元住民中心に固定客を確保しているが、大手の業者との競争激化に巻き込まれつつある。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・今年酒類の販売を終了し、店舗部門は減収傾向。新たに太陽光設備や100均コーナーを新設するなど、売上維持・増加に努めている。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・顧客の車離れにより販売が落ち込んでいる。固定客のメンテナンス等を中心に稼働。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・原油価格に変化があるものの販売価格に転嫁しており安定した売り上げを確保。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・唯一の生花店として葬儀用花を中心に安定した受注を確保。(贈答・生花・お茶)
- ・生花の仕入価格は現在大きな動きはなく、固定客も多く業況は安定。(贈答・生花・お茶)

## 調査要領

- ①調査地域 根室管内1市4町（根室市 中標津町 羅臼町 標津町 別海町）  
釧路管内1市5町（釧路市 釧路市音別町 釧路町 白糠町 厚岸町 浜中町 標茶町）
- ②調査期間 平成29年6月8日～6月16日  
平成29年4月～6月期の景気の現状と平成29年7月～9月期の見通しを調査したものです。
- ③調査方法 面接ききとり方法及び郵送方法
- ④分析方法 DI（増加－減少のウエイト）
- ⑤調査対象企業 根室管内景気動向調査：172社  
うち有効回答153社、回収率89.0%  
釧路地区小売業景気動向調査：94社  
うち有効回答88社、回収率93.6%

### 《根室管内景気動向調査》

	調査対象 企業数	地 区 別		業 種 別
		根 室 市	管 内 4 町	
(1) 製 造 業	21社	8社	13社	水産加工9、木材5、出版・印刷4、造船1、 農畜産加工2
(2) 卸 売 業	17社	13社	4社	水産物卸11、家畜卸2、食品2、材料・資材・用品2
(3) 小 売 業	65社	23社	42社	衣料品5、飲食物品16、飲食店8、家具1、家電7、 医薬品・化粧品3、書籍・文具4、建材・金物・DIY3、 燃料10、カメラ・時計・貴金属2、スポーツ・娯楽用品4、 自動車・自転車2
(4) サービス業	40社	16社	24社	旅館・ホテル7、洗濯・理美容・浴場5、 自動車整備9、運輸12、医療1、船舶修理1、 その他5
(5) 建 設 業	29社	8社	21社	建築13、土木9、設備5、その他2

### 《釧路地区小売業景気動向調査》

#### <規模別>

大 型 店	5社
大型店以外の小売業	89社

#### <地区別>

釧 路 市	38社
うち 橋 北 地 区	8社
鉄 北 地 区	10社
愛 国 地 区	1社
鳥 取 ・ 大 楽 毛 地 区	8社
橋 南 地 区	4社
春 採 ・ 桜 ケ 岡 地 区	7社
釧 路 市 音 別 町	2社
釧 路 町	10社
白 糠 町	12社
厚 岸 町	18社
浜 中 町	6社
標 茶 町	8社

#### <業種別>

衣 料 品	6社
食 料 品	36社
うち 酒 ・ タバコ ・ 米	7社
コ ン ビ ニ	8社
ス ー パ ー	5社
菓 子 ・ パ ン ・ ケ ー キ	6社
その他（総合食品など）	10社
家 具 ・ 仏 具	2社
家 電 ・ O A	7社
医 薬 品 ・ 化 粧 品	5社
書 籍 ・ 文 具	4社
玩 具 ・ ス ポ ー ツ ・ 自 転 車	4社
カ メ ラ ・ 時 計 ・ メ ガ ネ ・ 貴 金 属	2社
金 物 ・ D I Y ・ カ ー 用 品	15社
靴 ・ カ バ ン	2社
贈 答 ・ 生 花 ・ お 茶	6社
大 型 店	5社

### ☆DI（デフュージョン・インデックス）の説明

景気の拡がり具合をとらえる指数。「増加」回答から「減少」回答を差し引きした結果が全体に占める割合を示したものです。DIは景気の向きを表し、DI値が高いほど景気に勢いがあり、反対に低いほど景気の停滞感が強いこととなります。

(例) この場合のDI値は	(増加)	(減少)
	40.0	20.0
	－ 20.0 = +20.0となります。	
	増 加	不 変
	40.0%	40.0%
		減 少
		20.0%

◎本調査での売上DI・収益DIは、前年同期で比較したものです。